

# 7

## 作業管理 基礎講座

7月18日(火)

午前9時45分～午後4時45分

### 作業標準の遵守徹底と継続的改善の実践

講師:長崎 俊夫 氏 (ものづくりアドバイザー)

住友電気工業㈱入社後、本社生産技術部に配属。事業部部門への生産管理改善の支援、開発、教育の業務を担当。実践支援活動で得た管理ノウハウ(開発)をまとめ、教育を通して全社への普及を主務とした。その間、日本能率協会の「生産管理セミナー」講師、関西IE協会発行の「ストックレス生産」の執筆に参加。退職後は、毎月、ノウハウ発信する中で、ものづくりのコンサルタントに従事している。

#### ポイント

- ① 作業標準の重要性と遵守徹底について学ぶ
- ② 作業のムダ・ムリを見つけ、継続的に改善に努める

#### 1 生産活動で最も重要な作業管理

- (1) 作業改善が進まなければ生産退室は悪化する
- (2) 根こそぎ改善を基本に日々継続の改善がポイント
- (3) 全員参加の活動が従業員満足と組織力強化に繋がる  
・トヨタ生産システム、日本的品質管理からの学び

#### 2 なぜ、設備は故障するのか

- (1) 生産活動の際有用ポイントは標準遵守
- (2) 標準を基にPDCAサイクルを回すポイント
- (3) 標準遵守管理・異常管理・ヒヤリハットの進め方

#### 3 作業のムダ・ムリの見つけ方

- (1) 作業を動作に分類するとムダムリムラが見えてくる
- (2) 動作経済の原則を通してムダに気付く
- (3) 付加価値を生まない作業動作は改善の可能性大
- (4) 作業・動作の機能と役割を追究するとムダが見えてくる
- (5) 工程間に隠された問題は気付きにくい、改善効果大

#### 4 時間計測による作業管理

- (1) 時間の差は作業動作の違い！  
時間を手掛かりに、その違いが見えてくる  
・ベテラン作業員との作業方法の違いで習熟を早める
- (2) 標準時間と能率管理から課題を見つける方法
- (3) 能率管理が難しい場合の代替の管理の工夫

#### 5 機械生産性と人生産性

- (1) 機械生産性と人生産性の優先順位の決め方  
・生産能力不足でない機械稼働率向上は原価低減にならない  
・機械生産性向上の2つのアプローチ  
タクトアップと稼働率向上
- (2) 段取時間短縮の改善アプローチ  
・段取作業特有の改善着眼と改善の取り組み方のポイント

# 8

## 設備・治工具管理 基礎講座

8月7日(月)

午前9時45分～午後4時45分

### 故障によるロスを防ぎ、製造コストを削減する

#### ポイント

- ① 設備・治工具管理がいかに重要なのかしっかりと認識する
- ② 設備・治工具管理の実践ノウハウについて学ぶ

講師:窪津 正充 氏(くぼつ経営研究所 代表)

化学薬品製造業の22年間で研究開発、技術部、品質保証部などの業務に携わる。その後、コンサルタント会社にて、生産性向上、品質向上、在庫削減、5Sなどのコンサルティングを行う。2018年くぼつ経営研究所を設立、経営改善、業務改善(品質、コスト、5S、多能化等)の指導やセミナーの講師として活躍中。

#### 1 設備の故障はなぜ起きる

- (1) 設備の故障とは  
・故障と故障予備軍、悪玉微欠陥、設備の設計仕様と劣化
- (2) 設備の故障の原因  
・設備の強度不足、劣化促進、ストレス放置
- (3) 設備を故障させる人の行動  
・正常稼働要件の未実施 ・仕様条件を守らない  
・欠陥の放置 ・復帰施工の低精度  
・設計、製作時の過失放置 ・技術、技能不足

#### 2 設備管理の見える化

- (1) 設備保全活動の位置づけ 【演習】ABC分析
- (2) 設備の効率
- (3) QCDの視点 【演習】自社設備のQCD分析

#### 3 設備保全の基礎知識

- (1) 設備保全の方法
- (2) 設備使用年数と故障の関係

#### 4 設備の5S管理

- (1) 5S管理が故障ゼロにつながる  
【演習】なぜ整理ができないのか？
- (2) 設備5S管理の進め方

#### 5 治工具の管理

- (1) 治工具管理の鉄則は集中管理
- (2) 治工具管理の具体的な進め方  
・治工具の整頓 ・治工具の手元化

#### 6 設備の保全体制をつくる

- (1) 設備保全のステップ 3つのステージで紹介
- (2) 故障ゼロ化への挑戦
- (3) 設備保全体制をつくる  
・設備保全組織 ・設備台帳 ・設備故障停止調査表
- (4) 三悪故障ゼロへの取り組み  
・清掃点検不良 ・注油不良 ・誤動作